適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
H28	1学年	後期	必修	1

科目名	担当者名
衛生管理	渡邉義康

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験	国家試験での必要な知識を確実に身につける。
授業方法	**達成目標**
教科書とプリントを中心に行う	国家試験での必要な知識を確実に身につける。

授業の内要

コマ数		項目	教科書	ワーク	参考資料
1	2	国家試験での衛生管理の役割について・公衆衛生の歴史	9～11		
2	2	公衆衛生の歩み	11～25		
3	2	保健	25～30		
4	2	平均寿命	30～35		
5	2	心臓病	35～40		
6	2	小テスト			
7	2	テスト確認＆老人保健	40～45		
8	2	食品の衛生	45～50		
9	2	環境衛生	55～60		
10	2	目的と意義	60～65		
11	2	小テスト			
12	2	大気汚染	65～70		
13	2	日光と健康	70～75		
14	2	い吹きの衛生	75～90		
15	2	害虫	90～98		
		後期試験			

他科目との関係性

物理・化学、美容保健

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
H28	1学年	前期	必修	1

科目名	担当者名
美容保健1	浅見

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	国家試験合格
授業方法	達成目標
講義	ワークブック・過去問題80パーセント以上の理解

授業の内要

コマ数		項目	教科書	ワーク	参考資料
1		第1章 ①～⑤	8～17		
2		〃			
3		第2章 ①～②	18～23		
4		〃 ③	18～23		
5		第1章・第2章小テスト			
6		第1章・第2章 予備			
7		第1章・第3章 予備			
8		第3章 ①～③	24～31		10章過去問配布
9		〃	〃		
10		〃 予備			
11		〃 予備			
12		第3章復習	24～31		
13		第4章 ①～②	32～35		
14		第4章 ③～⑤	36～39		
15		第3章・第4章小テスト	24～39		
16		第5章 ①～②	40～42		
17		第5章 ③～④	42～45		
18		第6章 ①～②	46～49		
19		第6章 ②～⑦	49～51		
20		第5章・第6章 小テスト	40～51		
21		第4章～第6章 予備			
22		〃			
23		第7章 ①	52～53		
24		〃 ②	53～55		
25		〃 ③	55～56		
26		〃 ④～⑤	56～59		
27		第7章 小テスト	52～59		
28		前期末試験対策			
29		〃			
30		〃			

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
H28	1学年	後期	必修	1

科目名	担当者名
美容保健1	浅見

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験	国家試験合格
授業方法	**達成目標**
講義	ワークブック・過去問題80パーセント以上の理解

授業の内要

コマ数		項目	教科書	ワーク	参考資料
1	7章	第7章循環器系　全体復習　第8章呼吸器系	52～61	No.38～44	
2	8章	第8章　呼吸器系	62～65	No.45～49	
3		第7章循環器系　第8章　呼吸器系　小テスト	52～65	No.38～49	
4		第9章　消化器系	66～71	No.50～56	
5		第9章　消化器系	71～75	No.57～60	
6		第9章　消化器系　全体復習	66～77		
7		第9章　小テスト	66～77	No.50～60	
8		第10章泌尿器系	76～77	No.61～63	10章過去問配布
9		第9章　第10章　復習	76～78	No.50～63	
10		第9章　第10章　小テスト	76～78	No.50～63	
11		予備			
12		予備			
13		予備			
14		第11章　内分泌器系	80～83	No.64～73	
15		第11章　内分泌器系	84～89		
16		第11章　内分泌器系	80～89		
17		第12章　環境と生体	90～91	No.74～76	
18		第11章　第12章　小テスト	80～91	No.64～76	
19		第1章、第2章復習	8～21	No.1～6	
20		第3章復習	22～31	No.7～12	
21		第4章復習	32～39	No.13～21	
22		第5章復習	40～45	No.22～27	
23		第6章復習	46～51	No.28～37	
24		予備			
25		後期試験対策			
26		後期試験対策			
27		後期試験対策			
28		後期試験対策			
29		後期試験対策			
30		後期試験対策			

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
H28	1学年	後期	必修	1

科目名	担当者名
美容の物理・化学	谷口　雅信

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	美容に必要な知識、国家試験対策
授業方法	達成目標
講義	国家試験合格

授業の内要

コマ数		項目	教科書	ワーク	参考資料
1	2	物理　力	9～15	120	
2	2	〃	16～31	121	
3	2	物理　熱	32～39	121	
4	2	〃	40～48	122～123	
5	2	物理　電気	49～57	123	
6	2	〃	58～69	124	
7	2	化学　物質の構造	215～222	134	
8	2	〃	223～234	135	
9	2	化学　溶液とコロイド	235	135	
10	2	化学　酸・塩基・塩	243～245	136	
11	2	〃	246～249	136	
12	2	化学　酸化・還元反応	250～253	136～137	
13	2	化学　有機化合物	254～255	137	
14	2	〃	256～273	138	
15	2	ワークブック・過去問題　演習			

他科目との関係性
衛生管理及び美容保健

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
H28	1学年	後期	必修	1

科目名	担当者名
物理・化学	丹羽

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	国家試験合格
授業方法	達成目標
講義	物理化学の基礎知識取得

授業の内要

コマ数		項目	教科書	ワーク	参考資料
1		美容器具と力の関係	9～16		
2		力・摩擦	〃		
3		力のモーメント	16～26		
4		刃物と力	〃		
5		力を利用とした器具	27～34		
6		熱を理由とした器具（関係）	〃		
7		熱の基本原理	35～44		
8		物質の状態変化	〃		
9		ねつを利用した器具	45～57		
10		電気を利用した器具（関係）	〃		
11		電気の基本	58～69		
12		電気のエネルギー	〃		
13		物理小テスト			
14		テストのまとめ			
15		化学　物質の構造	216～223		
16		原子	〃		
17		化学結合	223～230		
18		〃	〃		
19		物質の量と変化	231～234		
20		小テスト	〃		
21		溶液とコロイド	235～242		
22		〃	〃		
23		酸と塩基と塩	243～249		
24		〃	〃		
25		酸化還元反応	250～256		
26		有機化合物	〃		
27		官能基がついた炭水化物	256～264		
28		〃	〃		
29		化学　小テスト			
30		質疑応答・解説			

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	前期	必修	1	出席 期末試験

科目名	担当者名
文化論	下田

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	日本の文化を知る。
授業方法	達成目標
展示・講義・グループワーク	美容の歴史理解、知識をつける。

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
1	ヴィダルサスーン				
2	ヴィダルサスーン				
3	発表				
4	古代エジプト	P104～		写真	
5	ギリシャ・ローマ	P106～		写真	ウイッグ
6	ビデオ（テルマエロマエ/他映像）			写真	ビデオ
7	〃				
8	〃				
9	〃				
10	小テスト	P104から P108			
11	古代ゲルマン	P109～		写真	
12	中世ヨーロッパ	P110～		写真	
13	中世ヨーロッパ			写真	
14	小テスト	P109から 115			
15	近世Ⅰ	P116			
16	ヨーロッパ（イギリス・フランスの歴史上人物について）			写真	
17	エリザベス・フランソワ・ヘンリ8世など）			グループ学習	A4×3×5
18	〃			〃	
19	「発表」			〃	
20	近世Ⅱ	P120			
21	近世Ⅱ化粧	P122			
22	近世Ⅲ	P124			
2	近世Ⅲ服装について				
23	プフOR巨大スタイルを考える／かつらについて			写真	用紙
24	ヨーロッパ（フランスの歴史について）				ビデオ
25	マリーアントワネット・フランス革命・美術館作品など）				
26	〃				
27	近代Ⅰ				
28	近代Ⅱ　（マーセルウエーブについてなど）				
29	オートクチュールについて調べる				
30	小テスト	P116～134			

他科目との関係性
サスーンコンテスト・美容理論・実技授業など

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	後期	必修	1	出席 期末試験

科目名	担当者名
文化論	越田・下田

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	様々な時代背景の中で生まれるヘアスタイル・メイク・復職などの成り立ちを知る
授業方法	達成目標
講義・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・課題	美のあり方を知る事で「美意識」や「価値観」を理解し技術やデザインを深める為の糧とする

授業の内要

ｺﾏ数	項目	教科書	参考資料	備品
1	現代Ⅰ	135～138	講義	教科書
2	現代Ⅱ	139～140	〃	資料画像等
3	現代Ⅲ	141～144	〃	〃
4	オードリー・ヘップバーン		観賞	
5	オードリー・ヘップバーン		〃	
6	オードリー・ヘップバーン		〃	
7	現代ⅣⅤⅥⅦ		グループワーク	
8	〃60年代から90年代までの時代背景や流行をまとめる	145～158	〃	
9	〃		〃	
10	〃		〃	
11	ファションと造形	168～	講義	教科書
12	ファションについて	169	〃	資料画像等
13	トータルファションとイメージ	170～171	〃	〃
14	理容・美容とデザイン	172～	〃	〃
15	錯覚について	180	〃	〃
16	デザインの原理	181～187	〃	〃
17	色彩について	188～193	〃	〃
18	小テスト		小テスト	〃
19	総論　理容・美容について	6～8	講義	〃
20	日本の美容業の歴史　美容業の発生	10～11	〃	〃
21	江戸の美容業	12～14	〃	〃
22	近代・現代美容業	15～20	〃	〃
23	日本ファッション文化史　縄文・弥生・古墳	22～26	〃	〃
24	古代（飛鳥・奈良・平安）	27～135	〃	〃
25	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国）	36～41	〃	〃
26	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山）	42～44	〃	〃
27	近世Ⅱ（江戸）	45～	〃	〃
28	近世Ⅱ（江戸）	63	〃	〃
29	試験対策		小テスト	
30	試験対策		講義	教科書

他科目との関係性
美容実習・関係法規

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	前期	必修	1	出席

科目名	担当者名
美容技術理論Ⅰ	担任

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験結果	美容の理論を理解して適切な技術を行う
授業方法	**達成目標**
講義・デモンストレーション	国家試験合格への基礎知識習得

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
		美容理論1	美容実習1		
1	序章	P5～13			
2	〃	〃			
3	1章　美容用具	P15～33			
4	〃	〃			
5	〃	〃			
6	〃	〃			
7	4章　パーマネントウェーブ（ワインディング）	P117	P89～108		
8	〃		〃		
9	3章　ヘアカッティング	P65～100			
10	〃	〃			
11	〃	〃			
12	〃	〃			
13	〃	〃			
14	〃	〃			
15	小テスト				
16	2章　シャンプーイング	P35～54	P5～27		
17	〃	〃	〃		
18	〃	〃	〃		
19	〃	〃	〃		
20	〃	〃	〃		
21	〃	〃	〃		
22	5章　ヘアセッティング（ブロー・アップスタイル・ウィッグ）	P174～195	P144～167		
23	〃	〃	〃		
24	〃	〃	〃		
25	2章　シャンプーイング　（スキャルプトリートメント）	P55～63			
26	〃	〃			
27	〃	〃			
28	小テスト				
29	期末対策				
30	〃				

他科目との関係性

序章・・・美容保健　　2章、4章、6章・・・物理化学

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	後期	必修	1	出席

科目名	担当者名
美容技術理論Ⅰ	担任

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験結果	美容の理論を理解して適切な技術を行う
授業方法	達成目標
講義・デモンストレーション	国家試験合格への基礎知識習得

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
1	第4章　パーマネントウェーブ				
2	〃				
3	〃				
4	〃				
5	〃				
6	〃				
7	復習　・　第4章小テスト				
8	第5章　ヘアセッティング				
9	〃				
10	〃				
11	〃				
12	〃				
13	〃				
14	〃				
15	〃				
16	復習　・　第5章小テスト				
17	第6章　カラーリング				
18	〃				
19	〃				
20	〃				
21	〃				
22	〃				
23	〃				
24	〃				
25	復習　・　第6章小テスト				
26	第9章　日本髪				
27	〃				
28	〃				
29	期末対策				
30	〃				

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	前期	必修	1	提出物 出席

科目名	担当者名
運営管理	三浦・神戸

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
定期試験	就職するうえでの心構えや、組織の一員となって経営に参画すること、働く上での義務権利を理解させる。
授業方法	**達成目標**
講義・演習	店長・経営者の立場でサロン運営を考え接客ができるようになる。

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
2	第1編：第1章第1節～第5節	14～23			
	接客・仕事をするということ。				
2	第2章：第1節～第3節	24～29			
	接客の役割と基本				
2	第2章：第4節～第5節　第3章：第1節～第2節	30～39			
	良い接客者の基本的要素・接客の計画実践				
2	第3章：第3節～第7節	40～51			
	接客の流れとポイント				
2	第4章：第1節～第4節	52～59			
	接客の場で起こる問題・小テスト				
2	総合学習				
2	第2編：第1章第1節～第4節	62～69			
	経営戦略：美容業の現状など				
2	第1章：第5節～第8節	70～79			
	経営戦略①②				
2	第1章：第9節・総合学習	80～81			
	世の中の動き・小テスト				
2	第2章：第1節～第4節	82～89			
	マーケテイングの出発点・価値の実態				
2	第2章：第5節～第8節	90～97			
	顧客満足・マーケテイングミックス				
2	第2章：第9節～第11節	98～105			
	価格・インターフェイス				
2	第2章：第12節～第15節	106～113			
	お客様との対話・インターネットの活用				
2	第2章：第16節～第18節	114～119			
	システム・海外の美容				
2	第2章：第19節・	120～123			
	ケーススタディ・小テスト				

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	後期	必修	1	提出物 出席

科目名	担当者名
運営管理	三浦・神戸

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験	就職するうえでの心構えや、組織の一員となって経営に参画すること、働く上での義務権利を理解させる。
授業方法	**達成目標**
講義・演習	店長・経営者の立場でサロン運営を考え接客ができるようになる。

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
2	経営者の視点：第1節～第4節	126～133			
2	経営者の視点：第5節～第6節	134～137			
2	資金管理：第1節・第2節	138～141			
2	資金管理：第3節・第4節	142～145			
2	演習・小テスト				
2	労務管理：第1節～第3節	148～153			
2	労務管理：第4・第5節	154～157			
2	労務管理第6節・小テスト	158～163			
2	働くあなたの姿：第1節～第4節	164～169			
2	健康管理：第1～第4節	170～177			
2	健康管理：第5・第6節	178～181			
2	健康管理：第7節・8節	182～185			
2	健康管理：第9・第10節・小テスト	186～189			
2	健康上の問題：第1節～3節	190～195			
2	健康上の問題：第4節～7節・小テスト	196～203			

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	前期	必修	7	出席

科目名	担当者名
美容実習Ⅰ	担任

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験結果	美容師として必要な技術の基礎を徹底して学ぶ 衛生面に関しての技術・知識を身に付ける
授業方法	**達成目標**
講義・デモンストレーション	基礎技術力の習得・国家試験合格

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
		美容理論	美容実習		
	机上セッティング				
	ウェッティング・コーミング	P138・139			
	パート分け	〃			
	ブロッキング・シニョン(4・6・ベーシック)		P90～		
	シザーズ持ち方・開閉	P66・68			
	カラーウィッグ・ワインディングウィッグカット				
	ウィッグシャンプー				
	10ブロック(ゴム2重)		P92～96		展示ウイッグ
	上巻き・下巻き		P97～104		
	オールパーパス		P107・18		展示ウィッグ
	面談				
	a・b・cレクチャー				
	サスーンカット・ブロー				
	セット基礎・あみこみなど	P185～	P164～		
	夜会巻き	〃	〃		
	シャンプー・ブロー		P6～25		
	JHCA				
	期末試験課題(セット)				展示ウィッグ
	ヘアフェスタ				
	ヘッドスパ				
	国試ワインディング				展示ウィッグ

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	後期	必修	7	出席

科目名	担当者名
美容実習Ⅰ	担任

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験結果	美容師として必要な技術の基礎を徹底して学ぶ 衛生面に関しての技術・知識を身に付ける
授業方法	**達成目標**
講義・デモンストレーション	基礎技術力の習得・国家試験合格

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
		美容理論	美容実習		
	国試ワインド　ヘッドスパ	P55～			展示ウイッグ
	オールウェーブ	P135～			展示ウイッグ
	相モデルカラー	P197～			
	サスーンカット	P65～			展示ウィッグ
					展示ウィッグ

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1学年	前期	必修	90h(内21h)3単位	授業出席

科目名	担当者名
トータルビューティー基礎(着付け)	藤居・大宮・下田

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	着物の基礎を学び技術と知識を身に付ける
授業方法	達成目標
講義・実技	浴衣を自分で着る　相モデルで着せられるようになる

授業の内要

コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
1	着付け知識　着物の各部の名称	SBSテキスト			
2	着物の畳み方	美容理論2			紐
3	準備の仕方・ひもの片付け方				伊達締め
4	準備の仕方・置き方				
5	浴衣展示(自分で着る)				
6	浴衣を自分で着る				
7	補整の仕方				
8	浴衣から帯締めまで自分で着る				
9	相モデル浴衣展示　帯2種・男子1種				
10	相モデルで浴衣を着る				
11	〃				
12	〃				
13	検定・期末試験に向けて練習				
14	相モデルで浴衣を着る				
15	〃				
16	〃				
17	〃				
18	〃				
19	期末テスト(SBS検定対策)				
20	学科テスト・実技テスト				下駄
21	〃				

他科目との関係性

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
平成28年度	1年生	6～9月	必修	90h(内24h)3単位	出席

科目名	担当者名
トータルビューティー基礎(メイク)	三浦・竹内・大宮

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
期末試験(実技)	メイクの基礎技術習得、似合わせメイクを理解し、施術が行えるようにする
授業方法	**達成目標**
講義・デモ・実技	メイクの手順を覚え、似合せが出来るようになる

授業の内要

コマ数	時間数	項目	日程 専門①	日程 専門②	参考資料	備品	補講
1	3	道具の確認			教科書・プリント		
		理論、コットン手順					
		トーニング、プロテクティング					
2	3	クレンジング、スポンジ手順			〃		
3	3	スキンケア(クレンジング無し)+ベースメイク			〃		
4	3	ベースメイクまで+アイメイク			〃		
5	3	アイメイク+アイブロウ			〃		
6	3	アイブロウ+リップ、チーク			〃		
7	3	ナチュラルメイク(期末試験のペアで期末対策)					
8	3	期末試験(学科、実技)					

他科目との関係性

	対象学年	開校時期	科目区分	単位数	履修条件
H28	1学年	後期	必修	90H(内27H)3単位	出席

	担当者名
トータルビューティー基礎(ネイル)	前田/安立

	目的
期末試験	INA検定取得。正しく安全、衛生的な技術を身につける。オリジナルのアート作品を作れる。
	達成目標
デモ・講義・実習	INAネイル検定内容のケア・カラーができる

コマ数	項目	教科書		参考資料
3	検品、テーブルセッティング			
	消毒、道具の説明、ウッドの削り方、チップでのファイリング			
3	相モデルでのケア			
3	チップでカラー(赤)			
	相モデルでのカラー(赤)			
3	相モデルでのケア、カラー(ケア30分、カラー25分)			
	チップでアート(ライン、ドット、花)			アクリル絵の具
3	チップでアート			〃
	(マーブル、ウォーターマーブル、フレンチ、グラデーション)			〃
	相モデルでのケア、カラー、アート			〃
3	①検定対策 ②オリジナル作品			〃
	・相モデルでのケア ・チップでアート(バラ、動物)			〃
3	・相モデルでのケア ・相モデルでのアート			〃
3	相モデルでのケア、カラー(模擬試験)			
3	後期実技試験 (検定試験)			
27				

他科目との関連性
保健・衛生管理・美容技術理論

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
28年度	1年	後期	必修	90H（内18H）3単位	出席

科目名	担当者名
トータルビューティー基礎（エステティック）	柳生・酒井

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
実技試験による	エステティックの技術の習得
授業方法	**達成目標**
実習	クレンジングマッサージ・フェイシャルマッサージができる

授業の内要

回数	コマ数	項目	教科書		参考資料	備品
1	3	ベッドメイキング・ワゴンセッティング				
		ポイントクレンジング・クレンジングマッサージ				
		スポンジ・ホットタオルのふき取り				
2	3	クレンジングマッサージ				
		フェイシャルマッサージ				
		スポンジ・ホットタオルのふき取り				
3	3	クレンジングマッサージ				
		フェイシャルマッサージ・				
		スポンジ・ホットタオルのふき取り				
4	3	クレンジングからマッサージまで				
5	3	模擬試験				
6	3	試験（クレンジングマッサージ+フェイシャルマッサージ）				

他科目との関係性

技術理論2

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数	履修条件
H28	1学年	4月・10月	必修	2	出席

科目名	担当者名
キャリアデザインⅠ	前期AB前田・CD豊林、後期A～D豊林

授業科目の学習教育目標

評価方法	目的
出席・提出物評価	自己理解・職業理解をすすめる
授業方法	**達成目標**
講義・演習・現場実習など	自己理解・職業理解をすすめ就職に対する意識を持つ

授業の内要

コマ数	項目	日程	学内/外	準備
	前期			
1	自己理解：キャリアデザイン全体像	4月18日		
3	美容文化ガイダンス	5月9日	学外	
3	職業講話・ﾃﾞﾓﾝｽﾄﾚｰｼｮﾝ(ash)	5月16日	外部講師	
2	就職レクチャー（セイファート）	6/13AB・6/17CD	外部講師	
6	将来ﾋﾞｼﾞｮﾝ①	6月27日	外部講師	
1	東京・ニューヨークでの仕事	7月4日	外部講師	
3	職業講話・ﾃﾞﾓﾝｽﾄﾚｰｼｮﾝ(espoir)	7月11日	外部講師	
2	自己理解：私の夢・コラージュ作成	7/19の週		
2	夏休みサロン見学・電話のかけ方・リスト作成	7/19B1・7/20D1・A1・7/22C1		
3	表参道ｺﾚｸｼｮﾝ	9月27日	学外	
1	期末テスト：表参道コレクションなどまとめ	9/28～9/30		
27				
	後期			
2	インターンシップ先リスト作成	10月17日		
6	インターンシップ	12/1.2.3	学外	
5				
5				
6	将来ﾋﾞｼﾞｮﾝ②	2月13日	外部講師	
2	求人票の見方・履歴書の書き方・面接について	BD2/20・AC2/17		
3	就職ガイダンス	3月13日		
3	就職ガイダンス	3月14日		
1	期末テスト：就職ガイダンスなどまとめ	3/13の週		
33				
60				

他科目との関係性

コミュニケーションなど

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分		単位数	履修条件
平成28年度	1年生	前期	必修		1単位	出席

科目名	担当者名
ファッションデザイン	中嶋　・　近藤（サロン）

授業科目の学習教育目標

目的

発想力・感性・バランス力を学び、クリエイティブな作品の魅力を伝える。撮影の知識を身に付ける。

授業方法	達成目標
講義・制作	クリエイティブな作品が作れ、写真が撮れる

授業の内要

回数	コマ数	章・項目など	ページ	補講	参考資料など	準備物など
1	1	別紙シラバス参照（中島先生作）				
	2					
2	3					
	4					
3	5					
	6					
4	7					
	8					
5	9					
	10					
6	11					
	12					
7	13					
	14					
8	15					
9	16	サロン講義　1回目				
	17	AXIS				
10	18	2回目				
	19	CLEAR of hair				
11	20	3回目				
	21	BUDDY HAIR				
12	22	4回目				
	23	HAIR ICI				
13	24	5回目				
	25	LA PENSEE				
14	26	6回目				
	27	SUPLAM・BLANCO				
15	28	7回目				
	29	課題制作				
16	30	8回目　作品・レポート提出				

他科目との関係性

美容系全般

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
H28	1学年	前期	必修	

科目名	担当者名
ファッションデザイン（1～15まで）	中島奈緒子

授業科目の学習教育目標	
評価方法	目的
期末試験	創造力・表現力・バランス感覚を養う
授業方法	達成目標
講義・実習	ファッション・デザイン画の知識を身につけ習得する

授業の内要

コマ数		項目	教科書	ワーク	参考資料
1		ファッション用語、トレンド			
2		ヘアスタイルデザイン画（下描き）			
3		コラージュ　テーマ決め			
4		材料収集			
5		レイアウト			
6		切り貼り			
7		〃			
8		↓　仕上げ			
9		ヘアスタイルデザイン画（着色）			
10		〃			
11		デザイン画　トータルコーディネイト			
12		（2016-17トレンド）			
13		〃			
14		〃			
15		最終課題			

他科目との関係性

平成28年度用

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分		単位数	履修条件
平成28年度	1年生	後期	必修		1単位	出席

科目名	担当者名
ファッションデザイン（パーソナルカラー）	近藤　龍起

授業科目の学習教育目標

目的

色に興味を持ち、色による提案が出来るようにする。パーソナルカラー検定2・3級を取得する。

授業方法	達成目標
講義・制作	色素傾向を確認でき、それにあった配色を提案できる。パーソナルカラー検定取得

授業の内要

回数	コマ数	章・項目など		ページ	補講	参考資料など	準備物など
1	1	パーソナルカラーとは	（ドレープで実践）	P1 － 9	テキストまとめ	PCCSカード	3級テキスト
	2	第一章　パーソナルカラーの基本	色の三属性・色相環作成（30分）	P12 － 17	〃	3級テキスト	PCCSカード
			（金・銀紙使用）			色相環	ハサミ・のり
2	3		明度・彩度について	P18 － 19	〃	トーン表	PCCSカード
			三属性で4シーズン分け	P20 － 24	〃		
	4	第二章　色のイメージ	トーン説明・トーン表作成	P26 － 29	〃		PCCSカード
3	5		トーン表作成、トーンでシーズン分け、イメージ	P30 － 31	〃		PCCSカード
	6		「系統色名」「慣用色名」、カラーパレット	P32 － 41	〃		
			イメージワード	P42 － 44	〃		
4	7	色相環・トーン表の小テスト	コラージュ作成	P45 － 51	〃		材料
	8		〃		〃		
5	9	第三章　似合う色基準決め	色素傾向	P54 － 59	〃		ノーメイク
	10		4シーズン色素傾向（肌/髪/眼）、セルフチェック	P60 － 74	〃		
6	11	第四章　似合う色を客観的に探す	対比	P76 － 84	〃		
	12	第五章　ドレーピング	説明・見るべきポイント	P86 － 106	〃		
7	13		顔色の良い見え方・悪い見え方	〃	〃		
	14	第六章　似合う色を取り入れる	取り入れ方　→　アクセサリーまで	P132 － 147	〃		
8	15	第一章～第三章　パーソナルカラー活用アドバイザーとは		P17 － 64	〃	2級テキスト	2級テキスト
	16	第四章　配色方法のアドバイス	色相とトーン	P66 － 69	〃		
9	17		ドミナントカラー・トーン、カマイユ、フォ・カマイユ	P70 － 75	〃		
	18		コントラスト、アクセント、セパレーション	P76 － 83	〃		
		第五・六章	ファッションアドバイス、色々な物への提案	P86 － 111	〃		
10	19	検定対策	模擬問題①		対策問題解説	2・3級テキスト	2・3級テキスト
	20	〃			〃		
11	21	検定対策	解説		〃		
	22	〃			〃		
12	23	検定対策	模擬問題②		〃		
	24	〃			〃		
13	25	検定対策	解説		〃		
	26	〃			〃		
14	27	ドレーピング	説明・見るべきポイント	P86 － 106	〃		ノーメイク
	28	〃	実践				
15	29	期末試験		P86 － 106	〃		ノーメイク
	30	〃					

他科目との関係性

メイク・ネイル・着付け・ブライダルなど